

中学生の部 町長賞

『花いっぱいのHappyな中学校』

南郷中学校 3年 野田 くるみ



中学生の部 議長賞

安心・安全で平和な学校

不動堂中学校 2年 宇都宮 愛莉

理想的な学校について、私は安心・安全な平和で勉強しやすい環境が必要だと思う。なぜなら私には過去、災害に遭い家は全壊し曾祖母を亡くし通っていた幼稚園が行けなくて勉強ができなかった。そして大人からの理不尽な悪口・振舞いや自転車に画鋲を刺すなどいじめなどがあったからだ。

その学校を実現する為の対策として、各災害ごとに確認していきたいと思う。

まずは、強風・台風・竜巻の災害対策を説明していこうと思う。強い風では、窓などがガタガタと物音が鳴ってしまう。それを耐風シャッターや耐風圧性能に優れた窓、隙間テープなどを使うと防げる。他にも風で物が飛んできて、窓ガラスなどが割れてガラスの破片が刺さって怪我をしてしまうので複層ガラスにすれば防ぐことができる。

次に、水害・津波の災害対策を説明していこうと思う。美里町は津波が来る可能性は低いが、水害が多く台風や強い雨が降ると鳴瀬川の氾濫が起こる。その対策として、水密性能に優れた窓などを設置が必要だ。他にも豪雨もあげられる。私の通っている不動堂中学校では雨が降ると湿気で廊下や階段が滑りやすくなっていて怪我をしたり、雨漏りで出来た水溜まりで転んでしまったりすることがある。対策として、結露防止剤を使ったり耐水シートを使うなどが必要だ。そもそも頑丈で雨漏りのしない屋根を作ったほうがいい。

次に、火災について説明していこうと思う。学校にある暖房機は主にジェットヒーターなどである。ジェットヒーターは火力が強い分、暖まりやすいが火傷や服が燃えたりする。私の学校では体育の授業の時にジェットヒーターを使う。先日私の友達が暖まっていると友達のウィンドブレーカーが焦げてしまい、その後手を火傷してしまった。その対策として暖房機を床暖房に変えた方がいいと思う。理由は、直接人体に暖気を当てるのではなく下から熱を加えることで全体が早くむらなく暖める事ができる事と床の下に温水を流すタイプにすれば災害時にその温水を使用する事が出来るからだ。火災は他にもコンセントから起こる場合もある。対策として、コンセントガードやシリコン製トラッキングなどを使えば安心できる。

次に地震について説明する。強い揺れが起こると家具が動いたり転倒したりする。対策として棚などをつっぱり棒で固定しテレビやパソコンをガムロックやベルトで固定したり、窓ガラスにはガラス飛散防止フィルムを貼ったほうがいいと思う。

次に雷の災害について説明していきたいと思う。雷が落ちると停電が起こる。その対策として避雷針をつけて建物などへの被害を防ぐ、万が一、学校が停電しても電気を使えるように電気を日頃からソーラーパネルなどで蓄電しておく必要がある。

次に土砂災害については先ほど説明した水害の時のかき上げなどの対策方法がある。

次に、雪害について説明していこうと思う。私の学校では、雪が降ると大きく鋭い氷柱がよくできてしまう。部活動などで下校時間が遅くなると、外は暗く頭に氷柱が落ちてこないか心配になる。対策としてスノーメトフェンスなどを設置する必要がある。

次は先程の災害とは違って人が原因となる人災について説明していこうと思う。2017年8月29日、北朝鮮による発射実験が行われた。今この世界は何が起こるか分からない。日頃から訓練や準備は絶対必要だ。その為、学校の地下にシェルターを作れば安心だと思う。

次に、いじめの取り組みについて提案していきたいと思う。いじめは生徒だけではなく、先生も行う可能性もある。その対策として、防犯カメラの設置が有効だ。カメラがあれば早期・防止や駐輪所・駐車場のいたずら防止が出来るからだ。

次からは私が日々学校生活で改善してもらいたいことを説明する。

まずは、カーテンを黒にしていきたいと思う。理由はカーテンをしていても黒板が日光で反射して見えにくくなるのを防ぐためだ。

次に、エレベーターを設置していただきたいと思う。理由は捻挫・骨折・体調不良の人や荷物を運ぶ人などの階段の上り下りが大変だからだ。

次に、校庭を広くしてほしい。理由は校庭が狭いと体育の時や部活動の時に大変だからだ。

次に、携帯電話の持ち込み許可だ。理由は、もし災害が起こり、家族への連絡手段として必要だからだ。また、学校だと迎いの連絡など、公衆電話が混雑してしまうからだ。

学校は勉強をしに行く場であり、時には避難所でもある。だから安心・安全な環境が必要だと考えている。

これからできる新中学校にこの災害対策を是非反映していただけたら幸いだ。

中学生の部 教育長賞

明るい思い出

不動堂中学校 1年 千葉 咲和

私が考える行きたくなる学校・魅力的な学校・理想的な学校のこの三つの中で私は理想的な学校に注目して考えました。私が考えた重要について書いていこうと思います。

まず一つ目は学校に常駐してくれているカウンセラーがいることです。中学生になったばかりの1年生、学校を引っぱらなくてはいけないと自覚を持ち始める2年生、高校受験の3年生、どの学年でも悩みはあると思います。そこでカウンセラーの方が居てくれば少人数の生徒だけでも不安な気持ちが晴れてくれると思います。それだけではなく宮城県はいじめや不登校の認知件数が全国トップになってきています。私はこの記事を見て自分の知らないだけでこんなに近くに問題があると知り、自分は何もできないくやしさと悲しさでいっぱいでした。一人でも悩みがなくなるようにカウンセラーの方がいるのが学校全体のためになると思います。

二つ目は発言の場を増やしていくことです。なぜかというとは高校受験の時の面接や学年全体の時などいろんな場面でよく考えなければいけないことがあります。そのために普段から、練習などを行うことで必要な場面でスムーズな受け答えができるようになります。私は人前で発言することがあまり得意ではありませんが、この方法を行うことでだいぶ緊張がやわらぐことができました。

この重要な二つの事が私の理想的な学校と考えました。学校が楽しく学べるよう、私も行動をおこしていきたいと思いました。

中学生の部 佳作

『木でできた教室』

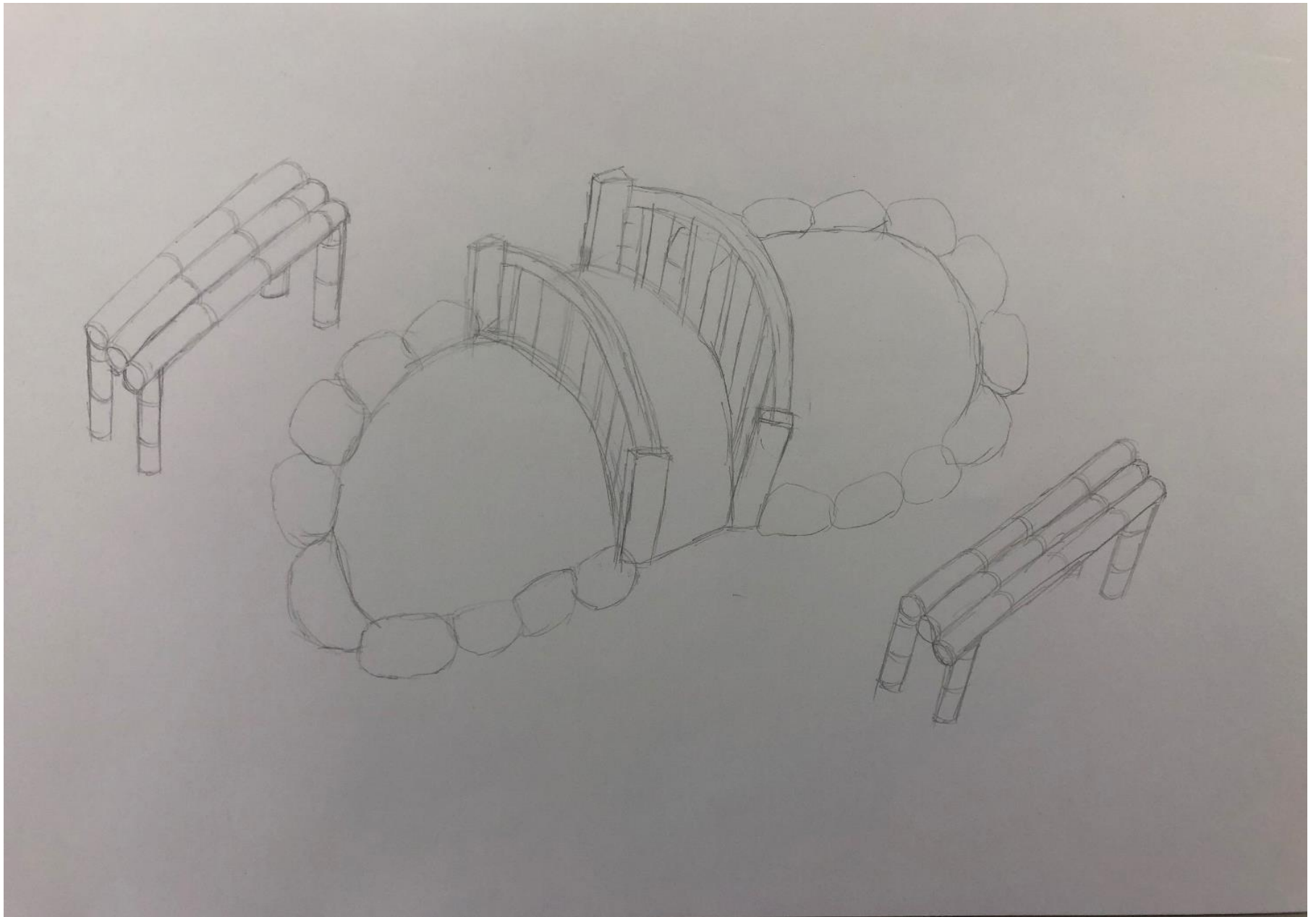
小牛田中学校 1年 今野 佑奈

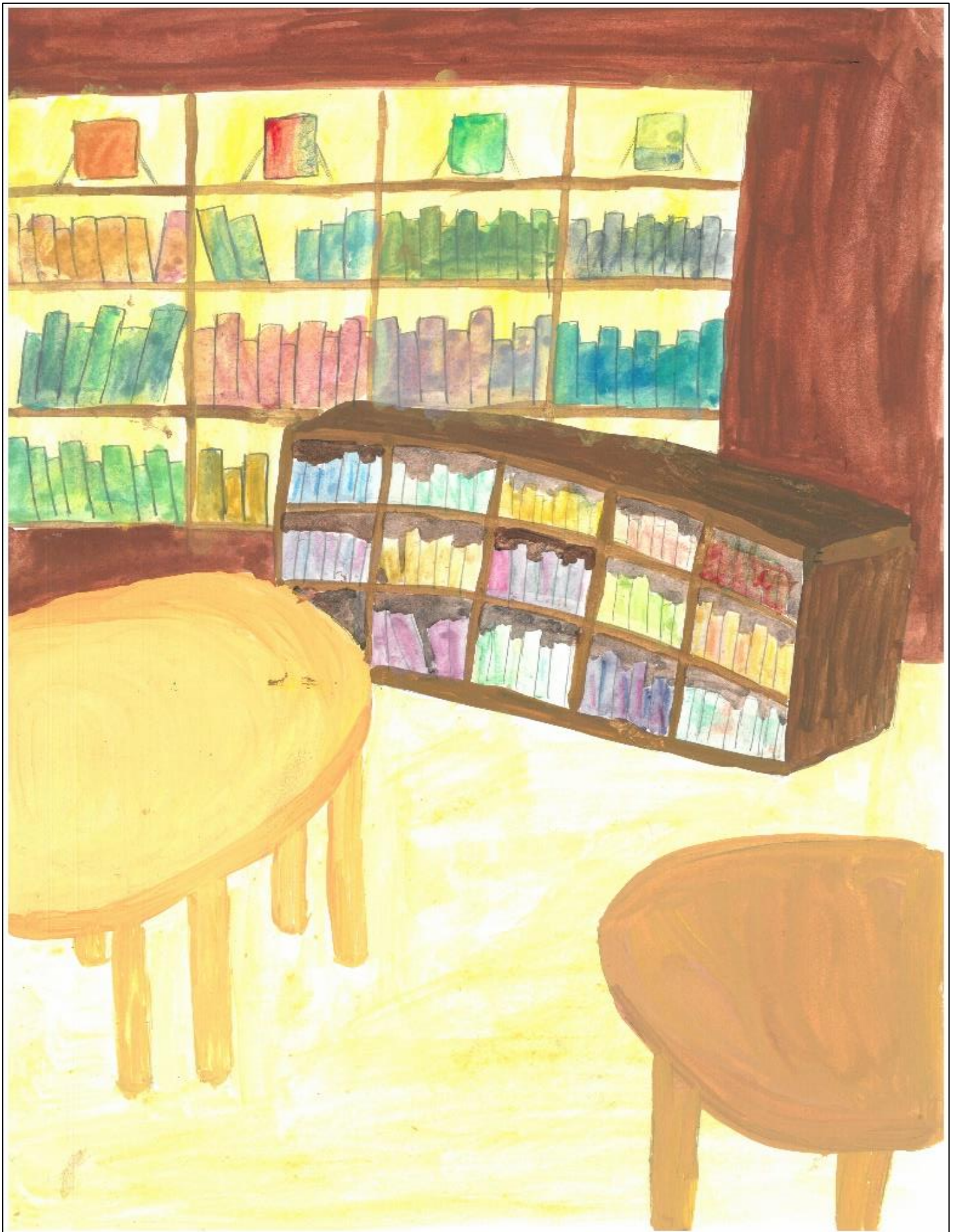


中学生の部 佳作

『中庭の池』

小牛田中学校 1年 涌井 柚芽



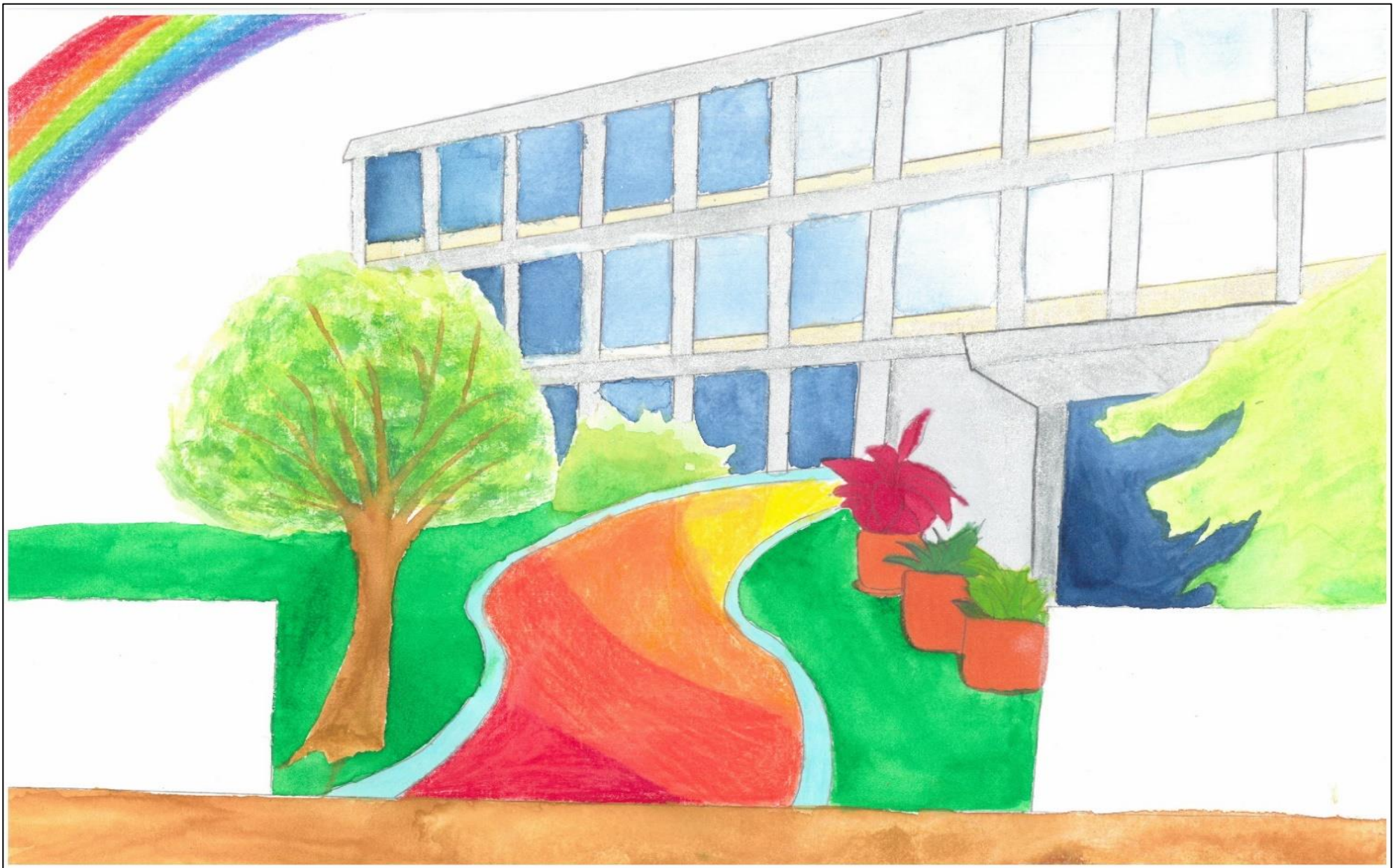




中学生の部 佳作

『夢の学校』

南郷中学校 3年 伊藤 結奈



中学生の部 佳作

よりよい新中学校に

小牛田中学校 1年 阿部 真梨亜

私が考える理想的な学校は町の人達との交流があり、勉強に励むことができる学校です。これを実現させるために次の三つのことを考えました。

一つ目は、町民の皆さんも楽しめる展示スペースをつくることです。生徒の展示物や町民がつくったものを展示したり、見ることができるスペースです。私達の作品を見てもらったり、町民の作品を見て芸術にふれることで創造力がふくらみ、交流の機会をもつことができると考えます。しかし、問題は場所です。新小牛田中学校には、小牛田・不動堂・南郷と広い範囲のため、一カ所にすると一部の人達が遠くなり、気軽に行くことができなくなります。そこで、役場と連携し学校の展示スペースと連動させながら、展示物をスクリーンなどで見れるようにすればいいと考えます。そうすることにより、より多くの人に作品を気軽に見てもらう機会が増えると考えます。

二つ目は、自習室をつくることです。自習室は図書室や教室と違い、静かな空間だと考えます。図書室や教室は、雑音、声などで集中できないことがあります。自習室では、勉強する人だけの利用とすることで、集中して勉強に取り組むことができると考えます。また、パソコンを利用できるようにすることで分からない事があればすぐ調べることができるので便利になります。

三つ目は、自主学習を身につけることです。毎日少しでも勉強をすることにより学力がぐんと上がります。自主学習を身につけるために学級別で自学の1週間の提出率を競ったり1年間毎日提出した人に表彰するなど工夫をしてやる気を出させます。

これらのことを実現させることで、よりよい新中学校になると私は考えます。

中学生の部 佳作

理想学校

南郷中学校 2年 今川 悠稀

私が考える理想の学校は、高校のように売店や食堂がある学校、道徳などで話し合う時間を多くすること、くつや制服などを指定しない学校です。

高校のように売店や食堂がある学校の理由は、給食というその日はこれを食べなきゃいけないということではなくその日に食べたいものを、選んで食べられるのがいいと思うし、給食はわけられた量を食べなくてはいけないけど、売店などだったら自分にあった量を食べられるし、その日限定のものがあったら今日は何かな？とワクワクできるからです。

2つ目の道徳などで話し合う時間を多くするというのの理由は、相手の話を聞くことでその人がどんなのを考えているか、どんな風に思っているか分かるし、将来、相手と話すときに相手に気を配りながら相手に合わせて話すことができるからです。

3つ目のくつや制服などを指定しない学校の理由は、朝、学校に行くとき、スカートで足がとても寒くなるし、くつの中がぬれて1つしかもってなかったときかえがなくて、どうしようもなくなるからです。

以上が私の思っている理想の学校です。

中学生の部 佳作

作品タイトル 『I deal school』

声上げて 部活に走る 夏の朝

自分の未来も スタートライン

南郷中学校 3年 広瀬 偉土

中学生部門（イラスト）

タイトル	理想の図書室	学年	1
------	--------	----	---

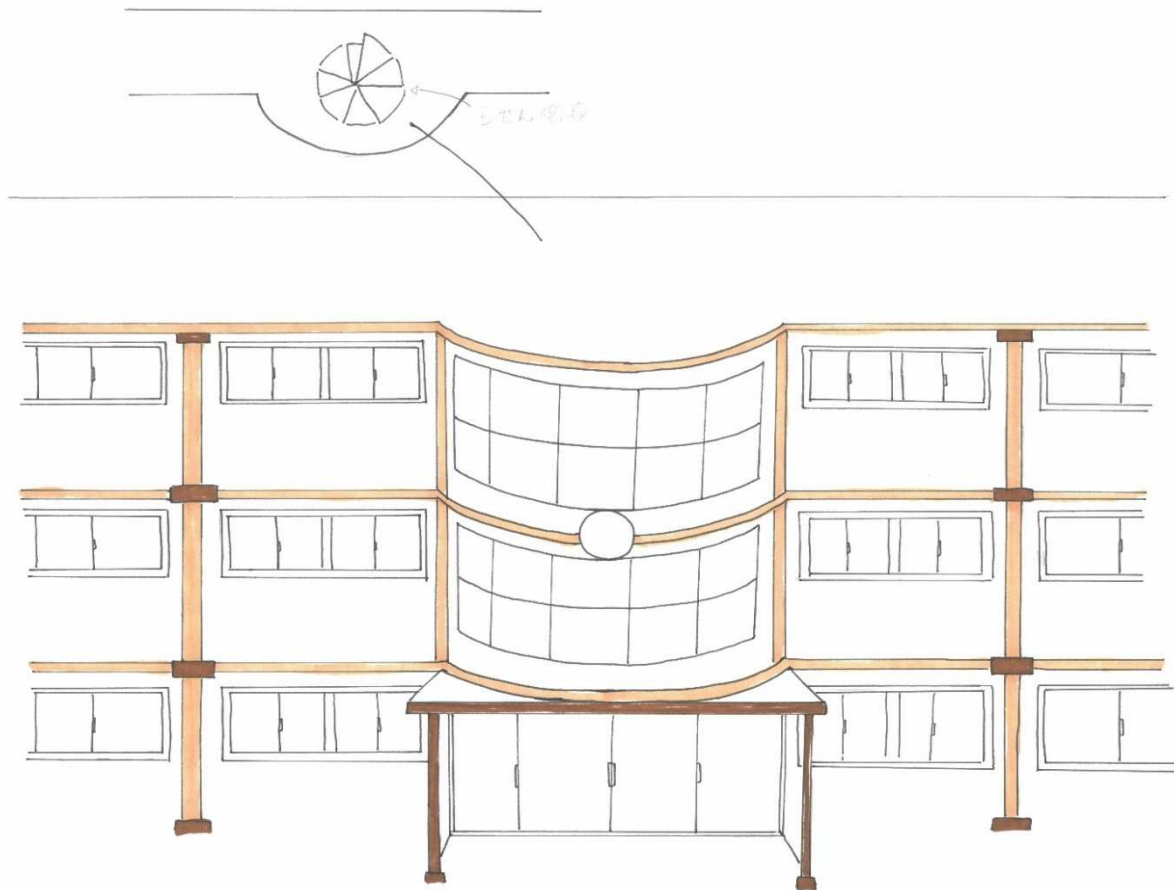


タイトル	図書館風図書室	学年	1
------	---------	----	---

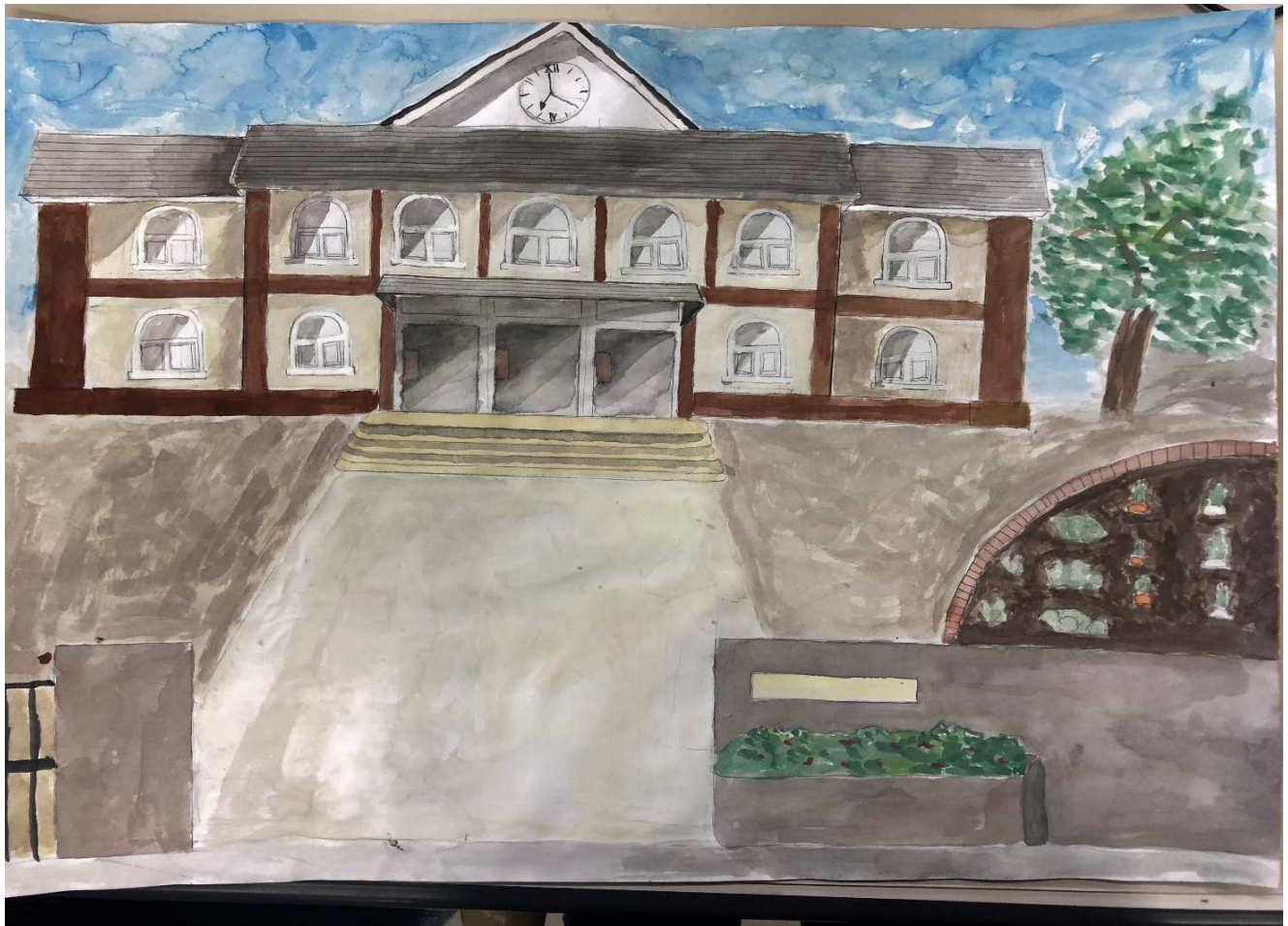


中学生部門（イラスト）

タイトル	理想の学校	学年	2
------	-------	----	---



タイトル	学校	学年	1
------	----	----	---



中学生の部

作品タイトル『私の理想的な学校』

私が理想する学校は四つあります。

一つ目は、机やいすを新品にすることです。最近学校では、古い机やいすが多いです。机やいすの角にささくれがあり制服の糸が出たり手をけがするなど危険性があるので、なるべく新品にすれば、けがをする危険性も無くなると思うからです。

二つ目は、雨もりを防ぐことです。雨もりすることで、床がすべりやすく大変です。バケツなどを置いていても、最終的に片付けないといけません。すると仕事がたくさんある先生方にも失礼と感じます。なので雨もりを防ぎけがにも気を付けて生活したいと思います。

三つ目は、中庭を作ることです。最近中はいる人が多いので運動不足になります。そこで中庭があり、少しでも行くと、自然を感じちょっとした運動になると思います。

四つ目は、外に水道を増やすことです。中学校になると部活が始まり、外の部活などもあります。そこで万が一けがをした場合すぐ水で洗い流した方が良いと思います。他にも練習につかれて、水を飲みに行く時にわざわざ歩いていくには大変です。そこで身近に水道があると、すぐ水分補給ができ、すぐに練習に戻れます。そのことだけで練習する時も増えると思います。

私のこの四つのアイデアが未来の新中学校に少しでも役立てれば良いと思います。

中学生の部

作品タイトル『理想の学校』

私が思う学校の理想は5つあります。

1つ目は環境が整ってることです。蛇口やトイレなどきれいに整っていることが行きたくなる学校の第一だと思います。整っていることで使う人がこの状態を維持し続けようと自分達から掃除しよう意識するので掃除を習慣づけることにつながるからです。

2つ目は地域の人との交流が盛んであることです。朝に学校に登校する時や帰りに下校する時地域の人にあいさつをしようとしても自分が知ってる人ではないので緊張してしまい自分からあいさつできないことが私にはあります。私以外にもそういったことであいさつができない人が何人もいると思います。なので地域の人との交流が盛んであれば地域の人に声をかけやすくなり自分からあいさつできると思うので地域の人との交流を盛んに行うことは学校にとっていいことだと思います。

3つ目は校庭をじゃりにすることです。私の学校の校庭は砂なため雨がふった日はぬかるんで転びそうになることがあるので校庭はじゃりにした方がいいと思います。

4つ目は体育教師です。体育教師は男性教師だけでなく女性教師も必要だと思います。女子生徒で男性教師に言いづらい理由で休みたい人もいるのでそういった時、女性教師は必要になると思います。また保健の授業でも男女でわけたい人もいると思うので女性の教師は必要だと思います。

5 つ目は縦割り活動を盛んにすることです。縦割り活動が盛んであると運動会や文化祭で団結力が深まるからです。

以上の5つの事がかなうと理想の学校になると私は思ってます。なので実現することを願ってます。